

# 白紋羽病・胴枯病対策による改植障害の回避

## ■背景とねらい

管内ではなしの改植後、白紋羽病による枯死が著しい。また、白紋羽病の影響を免れても胴枯病による枯死が問題となっている。そこで、白紋羽病の早期発見及び防除方法の指導、胴枯病の発生状況の把握を行い、チラシによる啓発や防除講習会を通じ、生産者が自ら防除の重要性を理解し進んで対策に取り組めるよう支援した。

## ■本年度の取組

### 1 枝挿入法による白紋羽病診断の周知及び防除対策技術の検討

#### (1) 枝挿入法による白紋羽病の発生調査

管内のジョイント栽培 16 園地、令和 4 年度改植予定 5 園を調査園地に選定し、JA・園協と協力し 6～9 月にほ場図作成及び枝挿入法を実施。また上記 16 園地の土壌における白紋羽病の抑止力について南信農業試験場と調査した。

#### (2) 技術者向けの目揃い会の開催及び生産者向け簡易診断チラシの配布

5 月 26 日に JA、園協の技術員を対象に南信農業試験場にて白紋羽病の枝挿入法を用いた簡易診断法の目揃い会、7 月 7 日には 16 調査園地の挿入枝を持ち寄り判定会を行い、調査や判定方法の技術統一を図った。また生産者向けに、12 月に白紋羽病簡易診断法と白紋羽病の見分け方を記したチラシを 1,000 部作成し、JA・園協なし部会員を中心に配布した。



白紋羽病の簡易診断チラシ

#### (3) 土壌消毒・温水処理等既存技術の周知

枝挿入園の診断書を作成し、罹病確認 9 園地に対し指導を行った。また既存技術である土壌

消毒及び温水点滴処理については、白紋羽病防除対策講習会や 3 会場にて現地実演会を開催し、病害の生態や防除対策、温水点滴処理法について周知した。

#### (4) 白紋羽病による欠木発生園での補植後再発防止対策の検討

補植後の再発防止技術の確立を図るため、試験ほ場を設け調査検討を行った。

### 2 胴枯病の防除対策による改植園の生育確保

#### (1) 胴枯病発生状況調査及び技術者間で胴枯病徴の目揃いと対策の検討

枝挿入法調査園地のうち、胴枯発生園 4 園地について試験場とともに感染要因である環境の把握を行った。また 11 月下旬に技術者間で胴枯病の特徴的な病斑の目揃いと対策の検討を行った。

## ■本年度の成果

### 1 枝挿入法による白紋羽病診断の周知及び防除対策技術の検討

枝挿入法調査により 44%の園地で白紋羽病のり病を、土壌調査では白紋羽病の抑止力の弱さが確認され、管内における白紋羽病の感染の実態把握ができた。枝挿入法による白紋羽病の簡易診断については「初めて知った」、「桑園で挿入枝を確保したい」との意見も聞かれ実施農家の増加が期待できる。

### 2 胴枯病の防除対策による改植園の生育確保

胴枯病の病斑の目揃いを行ったことにより、早期に胴枯病の判定や対策の実施が期待でき、病害の減少が見込まれる。

## ■今後の課題と対応

今まで生産者自ら病害の診断ができず防除の遅れがみられていた。今後、簡易診断等により早期発見・防除の定着を目指す。また安心して改植や新植ができるよう、新たな技術の検討を通じ対策の確立を図る。(地域第二係：堀 琴音)